

学校名	新座市立栗原小学校
実施日	(本評価) 令和3年12月24日

<記入の仕方>

○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

[A]:よくあてはまる [B]:ややあてはまる [C]:あまりあてはまらない [D]:まったくあてはまらない

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、元気な学校をめざし、明るいあいさつと返事を継続的に指導し、成果を上げている。(独自)	A	・個人差はあるが、全体的にはよく挨拶ができるので、引き続き指導を継続し、教師も率先してあいさつをしていく。 ・朝の元気の無さが、仕方ないのかもしれないが気になる。児童会等が引っ張ってくれると良い。	A	マスク着用ではあるが、全体的によくできている。学校ではできているが地域では？こちらから言えばできるという子もいる。誰に対しても、自然に挨拶ができるように、継続した指導をお願いする。
2	学校は、主体的に学ぶ児童をめざし、学び合いのある授業や習得が実感できる授業を行っている。(独自)	A	全ての教科において、意識して取り組んでいる。「主体的」「学び合い」などをキーワードに、教員間で共通理解を図りお互いに授業を見合ったり、情報交換を行っている。さらに質の向上を図るよう切磋琢磨していく。	A	「間違ってもいいんだ」「考えることが大事」というところを大事にしてほしい。中間評価から本評価に向かって、学校の課題を修正している姿がうかがえる。引き続き、教員同士が互いに授業を見合って情報交換しながら指導力向上を目指して欲しい。
3	学校は、清掃指導や掲示教育をとおして、学ぶ意欲が湧ききれいな教室環境を整備している。(独自)	B	・保護者の協力がある階段と図書室壁面の掲示は、定期的に変えられて動的な環境になっていると思うが、他の場所は、なかなか定期的に交換できていないように思う。 ・無言清掃については、教員も児童も意識が低いので、見直す必要がある。	A	掲示の工夫が見られ、環境が整っている。明るい印象がある。訪問者の目を惹きつける物となっている。黙々清掃の意義を伝えたり、見届けをお願いしたい。清掃用具などの片付けが徹底されていない様子もうかがえる。繰り返し、粘り強く指導をお願いしたい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	・学校職員が少ないので担当が多く、忙しい時期が重なってしまうと機能しなくなってしまうときがある。 ・来年度は校長指示で校務分掌主任を決定して欲しい。いつも同じ人が仕事を抱えてしまっているような気がする。	A	教職員が一丸となって協力・協働する姿をよく目にしている。特に、若い先生が困っていることや悩んでいることを相談できたりフォローし合えたりするチーム作りを！引き続き組織的な運営を期待する。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	・確かな学力を身につけさせるために、日課表を一部変更してはどうか。水曜日が、学年集会・全校集会で掃除がない週があるので、いっそ水曜日は掃除なしの日にして、集会以外の週でキュビナやドリル、個別指導ができる時間に当ててはどうか。	A	いろいろな意見を言いやすい職場環境がいいと思う。学校評価等の課題を改善すべく、年度内でも検討したり改善したりしている様子がうかがえる。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	・不審者対応として門を閉める、体育館前の扉を閉めるということを徹底するようになった。 ・不審者対応の研修は、毎年行っていきたい。	B	コロナ対応を含め、危機管理体制が求められる。具体的な研修を企画・実践していただきたい。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	A	・授業中のつぶやきは、ひらめいて授業の気づきとなるよいものと、自分勝手な発言が混同してしまうので、教師の方で見極めて、できるかぎり発言は挙手をするという学習のルールを特に徹底させていきたい。	A	価値あるつぶやきもあると思うので、いろいろな発言を大事にしつつ学習規律を徹底させて欲しい。ルールは精査して実効性のあるものに。あれもこれもではなく、重点化・焦点化して指導していくと良いのではないかな。学習ルールに基づいた授業展開ができています。引き続き学力向上に向けて指導を重ねて頂きたい。特に、オンライン授業と対面授業の併用がなされており(OMO型分散登校)、尽力に頭が下がる。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	どの学年学級でも、授業の中で自分の考えを伝え合う場を意識的に設定している。書く力については課題がある。話す・聞く・書くを重視しつつ、個々の思考が深まる指導を模索していく。	B	「書く力」を向上させるための手立てを工夫して頂きたい。タブレット導入で学びの幅が広がったと思うが、「読む」「調べる」「考える」など端末に頼らない活動も大切にして欲しい。書く習慣が身につくようにするなど、小学校段階は、「手を動かす」基本を徹底的にたたき込む時期だと思われる。
9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	A	新学習指導要領を意識し、教材研究に熱心に取り組みながら授業を展開している。主体的に学ぶ児童の育成をめざし、「学ぶことが楽しい」と思えるような授業・指導の工夫改善に努めていく。	A	ぜひ、学びが楽しいと思える授業、指導の工夫改善に努めて欲しい。国・県・市の指導資料を参考にしながら、指導の工夫改善に努めて頂きたい。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	・低学年から外国語活動に取り組んでいる。休み時間などの音楽を、英語の曲にしている。 ・特に高学年の英語のスキルが高い(リアクションやコミュニケーション能力について) ・AETや専科性が充実しているので、良い実践を引き継げるように、教材等のデータをしっかりと残していく	A	コロナ禍ではあるが、発語している口元が見られるのは大事だと思う。特に低学年の児童が楽しんでいる様子が伝わっている。引き続き、楽しく授業に参加できるように、内容を工夫して頂き、学級担任の指導力アップに期待する。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	A	時と場に応じた話し方、「です、ます」をつけて話すこと、自分の考え等を最後まで話すことなどできない児童が気になる。教職員全体で課題として捉え、学校生活のあらゆる場で意識して指導していく。	A	個人差はあるが、おおむね高学年の児童の言葉遣いが良い。低学年から高学年に向かって良くなっているのは、指導の成果だと思われる。発達段階に応じた指導を継続して頂きたい。さらに授業から生活の場への活用を図って欲しい。家庭との連携も必要。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	毎月のアンケート等で実態を把握し、いじめの早期発見、早期解決に努めている。問題行動に対しては複数教職員で対応している。アンケートで表面化したものだけでなく、表面化していないものもあるとの認識で子供達をよく見ていく。	B	保護者アンケートもB評価であった。意地悪な行為を見逃さず、指導を徹底する。いじめ根絶については、家庭・地域と連携しながらの対応が望まれる。多様な考え方や生き方を受け入れることのできる人に育てて欲しいと思う。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	B	児童の名札着用が徹底されていないのは、教員が名札を付けていないことが原因の一つだと思う。	A	子供は大人の行動、姿をよく見ている。引き続き、手本を示しながら指導にあたって頂きたい。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	・パワーアップ ・学校全体で20分休みは外に出て遊ぶという意識が児童に根付いているので、体力向上や生徒指導上の理由からも継続していきたい。	A	学校研究でも組織的に取り組み、成果を上げている様子が見える。体育の授業をよく工夫されていると思う。子供達は体を動かすことが好きなので、引き続き、体育と外遊びを関連させて指導して欲しい。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	給食便りが充実している。HPIにも給食のコーナーを設けているが周知が今一歩である。健康と栄養の観点やフードロスなどの問題点などを給食委員会の児童の活動と関連させていくことで啓発していく。	A	学校給食は児童にとって大きな関心事である。給食委員など、児童サイドの活動に期待する。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	A	・オンラインの授業参観や懇談会は保護者にとってもよい取り組みだと感じた。	A	オンラインによる授業参観や懇談会の取り組みが素晴らしい。必要に応じて継続して頂きたい。学校が地域との連携を大切にしていることを評価したい。コロナ禍で難しいが、試行錯誤を重ねながらの活動に感謝する。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	教育活動の様子を校内掲示やHPで発信している。学校便りや学年便りに教育活動をなるべく多く掲載するようにしている。さらに、ICTを活用して効果的に発信受信していく。	A	HPは写真が小さい。大きにならないか？「学校だより」は地域とのつなぎ役として、みなさんに好評です。引き続き情報発信をお願いします。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	A	PTAや応援団が児童のために積極的に活動して下さっている。保護者や地域との協力体制は良好で、取り組みが拡大した。同じ保護者に頼っている状況を改善し、参加者を増やしたい。	A	仕事をしている保護者が増えて、同じ保護者に頼ってしまう状況になっている。「できるときにできることを」が広がっていくといい。学校応援団活動が充実している。学校・地域・保護者が連携し、よりよい学校づくりに尽力していきたい。